

明るく元気な京浜地区



お陰さまで47年

# 京浜地区NEWS

発行：2011年11月30日（水曜日）  
発行：QCサークル関東支部京浜地区

第5348回 オール京浜大会 号

## 11月30日（水）千駄ヶ谷の日本科学技術連盟本部にて 第5348回《オール京浜改善事例大会》開催



来年2月の関東支部《改善事例チャンピオン大会》への出場権をかけて  
11サークルの皆さんが元気良く発表を行いました



【開会挨拶】稲村地区長

快晴の平成23年11月30日（水）午前10時からJR千駄ヶ谷駅近くの日本科学技術連盟本部1号館で開催しました。

一般参加者や発表者、関係者等180名を超える皆さんが参加して、平成24年2月に開催される関東支部チャンピオン大会への出場サークル選抜も兼ねた第5348回QCサークル京浜地区主催《オール京浜改善事例大会》を開催しました。



【特別講演】前田建設工業  
岩坂 照之氏

京浜地区・稲村地区長の開会挨拶に続き、11サークルが発表を行いました。

また特別企画として「前田建設工業ファンタジー営業部」の夢のある広報活動を岩坂照之氏にご紹介頂きました。

講演終了後には中野表彰委員長による審査結果発表と表彰式、高橋副地区長による閉会挨拶が行われ、大会は無事終了しました。



【閉会挨拶】高橋副地区長

《未来に向けて新たな価値創造に挑む京浜地区》

## 《改善事例》の発表風景



△ジーシーオルソリー “Team Dolphin” サークルさん

歯科医療製造販売を行っているジーシーオルソリーでは「歯科矯正」を円滑に行うためのパソコン用のシミュレーションソフトの販売促進に向けた活動を展開しました。

米国で販売されているソフトの国内販売を目指し、試行錯誤を繰り返して奮闘の末、年間目標を半期で達成した《Team Dolphin》サークルの取組みが紹介されました。



△メットライフアリコ “TSO45” サークルさん

我が国初の外資系保険会社として長い歴史を持つメットライフアリコのコールセンターの後方事務部門で活躍する《TSO45》サークルの皆さん、データ入力業務及びお客様向け書類発送業務を担当しております。

増加する業務量に対して、品質を維持向上しながら、限られたリソースでいかに対応していくか、現場のメンバーが知恵を絞って活動しています。



△テレマーケティングジャパン “湘南・逆境パイン” サークルさん

“湘南・逆境パイン”サークルさんは、キャンペーンによる入電の増加により、生産性の向上が急務となり、パフォーマンス改善による生産性向上とCS向上を実現するため奮闘しました。

お客様へ判りやすく丁寧な対応をし続けながら、通話時間を短縮するという二兎を追い、予期せぬ繁忙に見舞われながらも応対品質と生産性の両立を目指し、見事に目標を達成しました。

## 《改善事例》の発表風景



△新幹線エンジニアリング“SEドクター”サークルさん

新幹線車両のサービス機器のメンテナンスを担当する“SEドクター”サークルさんは、QCサークル活動15年の経験豊かなサークルですが、メンバーの異動によりベテランが減り、残った若手が頑張っています。

新幹線車両の喫煙ルームのフィルターを部品同様に洗浄させる活動では、若手メンバーで知恵を出し合い改善を繰り返し大きな成果を上げました。



△日産自動車SCM本部“WINウインサークル”さん

WINウインサークルの皆さんは、たくさんある海外生産拠点への部品出荷基地の役割を担っている本牧事業所の中で、部品受入検収業務を担当しており「わかりやすい物流、わかりやすい検収」をモットーに活動しています。

生産台数の増加に伴い納品車両の渋滞が慢性化しており、その解消に向け納品車両待機時間短縮の実現による「CS向上」活動の事例です。



△造幣局東京支局の“ホールマーク”サークルさん

造幣局東京支局から初参加を頂いた“ホールマーク”サークルさんは、コインへの「機械打刻設定時間の短縮」をテーマに活動した様子を発表しました。

技能の差が大きい二つの職場が統合、初心者が熟練者に近づくよう努めた“機械打刻設定作業”では仮説と検証を繰り返し、壁にぶつかっても諦めない粘り強い活動を続けた結果、一人で作業をできるレベルにまで昇華させた素晴らしい活動でした。

## 《改善事例》の発表風景



△コニカミノルタ総合サービス “TEAM 和” サークルさん

『男女の壁をぶち壊せ！～KD外装工程に於けるサックシート取出し不良の撲滅～』をテーマに活動に取り組んだ“TEAM 和”サークルさん。

職場内にある目に見えない『男女の壁』のため連帯感がなかった男女が、多能工化を進めていく中で見えてきた問題点を、男女一丸となり原因追求し、大幅改善を果たしました。

“ダルマ”サークルさんは「納品車両待機時間短縮によるCS向上活動」をテーマに、工数削減と輸送費削減の両方を目指した活動を実施しました。

広い工場の中では、たくさんの部品メーカーから納入される部品を、各必要個所に搬送する必要がありますが、搬送工数がかかるのが悩みでした。

そこで工数削減のために長距離無人運搬へ挑戦し、大きな成果を上げることができました。

“アンタレス”サークルさんは「プラドのドアトリムオーナメントライン停止時間低減」をテーマに、毎月悩んでいた“設備停止”に着眼をし、現状把握、要因解析を繰り返して行って対策を実施しました。

簡単には目標達成に至らずサークルとして苦労いたしましたが、最終的には他部署との連携を図り、みごと目標達成ができ、サークルレベルのランクアップに繋がりました。



△日産自動車横浜工場 “ダルマ” サークルさん



△トヨタ紡織・関東工場 “アンタレス” サークルさん

## 《改善事例》の発表風景



△日本ゼオン川崎工場 “NEXT ONE” サークルさん



△日野自動車の“Tプロメイン”サークルさん



△講評を行う杉浦世話人代行

△講評を行う村本副世話人



△講評を行う松田さん

△講評を行う藁谷さん

幅広い産業に材料を供給する日本ゼオン川崎工場の“NEXT ONE”サークルさんは、生産ラインに必須の蒸気を工場全体に供給しています。

「蒸留塔効率運転による蒸気量の削減」をテーマに取り組んだ活動では、不良品の発生原因である蒸気不足を防ぐために、できるリーダーがベテラン社員の協力・支援を仰ぎながら知恵を出し合うことで、投資をせずに大きな成果につなげました。

ラインタクト変更時における工程内塗装品質不良件数増加の撲滅を目指して取り組んだ活動でした。

“Tプロメイン”サークルが担当する塗装ラインでは、景気の影響による極端な生産変動により、品質の不良が増加傾向となりました。

経験の浅いリーダーが製造ラインと力を合わせて問題解決に挑戦し、品質不良の低減に取り組み見事目標を達成する事が出来ました。

11件の発表があった《オール京浜改善事例大会》では、各発表が終わった段階で講評を行い、講評後には発表サークルに記念品を贈り、感謝の意を伝えました。



表彰委員の中野さん、湯浅さん、武石さん、新倉さんが審査に当たりました。



前田建設工業の「ファンタジー営業部」は、アニメ、マンガ、ゲームといった空想世界に存在する、特徴ある建造物を本当に受注した場合、現状の技術及び材料で建設するとしたらどうなるか、について工期、工費を含め連載形式でホームページなどに公開するコンテンツです。

「ファンタジー営業部」のプロジェクトには

- ・ 1 「マジンガーZ」格納庫検討
- ・ 2 「銀河鉄道999」地球発進用高架橋検討
- ・ 3 PS2「グランツーリスモ4」サーキット検討
- ・ 4 「世界初！ロボット救助隊を創ろう」  
(組織実現概略検討)

- ・ 5 「機動戦士ガンダム」  
地球連邦軍ジャブロー基地検討

講演の中では「ドミノピザジャパンの“月面出店計画”」といったドミノピザ、コマツ、ANA、オンワードなどのコラボレーションも紹介され「誰がお客になるの？」と疑問を持ちながらも月面でピザを売る風景をイメージ、具体化したという楽しいお話が紹介されました。

「ファンタジー営業部」の活動の紹介のみならず、活動の背景を通して“自己実現”“職場力”“企業価値”などのキーワードについても考えてみたいと思います。

日本全体が大きく停滞し、産業界は大きく影響を受けていますが、特別講演で伺った「ファンタジー営業部」のような夢のある話、私たち一人一人が将来を具体的に描いた夢を持ち、その実現に向けて頑張りましょう。



会社紹介をする岩坂先生



流石に余裕ですね！！



## 《審査結果発表》 & 《表彰式》



△ 表彰風景（稲村地区長から表彰状と記念品を授与）



特別講演の最中、別室では表彰委員会を開催



△ 表彰状を手にほっとした表情の発表サークルさん

甲乙つけ難い審査の様  
様を語る中野審査委員長

来年2月に開催に開催  
される関東支部の《改善事  
例チャンピオン大会》の出  
場権は総合部門がコニカ  
ミノルタ総合サービスの  
“TEAM和サークル”さん、  
JHS部門はテレマーケ  
ティングジャパンの“湘  
南・逆境パインサークル”  
さんに決まり、会場から激  
励の拍手が贈られました。

### オール京浜改善事例大会の発表サークルの記念撮影



歴史を礎に未来を拓くQCサークル京浜地区…………お蔭様で45年目を迎えました

## 《オール京浜改善事例大会》開催の裏側



△午前8時半、全員集合。開催に向けて動き出しました。



謝意を述べる村川幹事長



本大会の今中リーダー



△ 受付風景



△日科技連出版社コーナー



開催前には早速、表彰委員と講評者の意見交換が行われました。

オール京浜改善事例だけではなく、京浜地区の行事は全てプロジェクトチーム制を採っており、22名を超える幹事、役員が行事の運営に当たりました。

3月11日の東日本大震災で当初のスケジュールが変更を余儀なくされ、開催日を見直し、この日の開催となりました。

今年度事務局を担当した今中さんの指揮の下、全員が役割を分担して準備から本番まで、粛々と役割を担当しました。

発表から特別講演まで全て順調に進み、成功裏に大会は終わりました。



### オール京浜改善事例大会の開催に係わった人たち